

なかしゅんべつ

NAKASYUNBETU

2008
AUGUST

8

VOL 367



高齢者スポーツ大会

当地区から2チームが参加し、心地良い風が吹く中、皆さん真剣な表情で優勝目指して汗を流しておりました。



スポーツが 町を元気にします!

いきいき、
はつらつ

去る7月29日、別海町陸上競技場において、高齢者スポーツ大会が開催されました。当日は、あいにくの曇り模様でしたが、町内各地区より多くの方々に参加されました。

高齢者スポーツ大会は、別海町社会福祉協議会が主催し毎年行われており町内八地区から多くの方々に参加しており当地区からは、豊原・美原、中春別の二チームが参加しました。当日は、あいにくの曇り模様で、少々肌寒く感じましたが、各チーム共に優勝を目指し、チーム一丸となっておりました。

競技開始前には、入念な打ち合わせをする姿が見られ各チームともに準備に余念がなく競技にたいする意気込みの強さが伺えました。

どの競技もユニークな物ばかりで、会場では、大歓声に混じり時折、笑い声も上がっており終始、盛り上がりを見せておりました。



高齢者スポーツ大会



競技に参加する選手は、悪戦苦闘しながらも必死に次の選手へとバトンを渡しておりチームワークの良さを感じました。
 正午頃には、会場の熱気が伝わったのか曇り模様だった空も太陽が顔を出し始め、より一層、会場は熱気であふれておりました。
 今年度は参加八チーム中、豊原チームが三位入賞と見事な成績を納めました。惜しくも入賞を逃したチームの皆さん、来年は入賞目指して頑張ってください。
 最後にありがとうございました、参加された皆さん大変お疲れ様でした。



組合員
説明会を
開催

各種新規事業の重要ポイント！ 情勢報告を実施



8月5日・6日、団地センタートレーニング室に組合員95人を集め、開会にあたり1日目・丹羽専務、2日目・竹田組合長の挨拶の後、営農生産部関連、購買部関連、総務部関連を各部長が情勢報告、各担当課長より新規事業の概要説明及び取組み状況などの報告を行いました。

営農生産部関連情勢報告

① 生乳生産状況について

七月末累計実績では、当農協百五・五%、管内百三・九%、全道百三・四%と前年度を上回っております。

② 生産調整について(北海道酪農維持基盤対策)

平成十八年度より三年間でスタートし、本年度最終年となりますが、全道目標数量(前年度目標対比)百三・三%、(前年度対比)百三・六%、三百八十四万五千五百三十二で設定され、当農協全体目標数量は、タイプA・Bで前年比百二・七%の十一万五千四百九十六ととなりました。また、アローワンスがタイプAでは二%(全体)、タイプBが二%(個別)とそれぞれ〇・五%の引上げとなっております。

③ 用途別販売単価と今後の乳価交渉の取り進め

について

乳業メーカーに対する二十年度の用途別販売単価は加工向で十五円、飲用向十三円、生クリーム・濃縮乳向十四円、脱脂濃縮向十六円、チーズ向十円で決着し、プール乳価換算では十五・一円となっておりますが、生乳生産コスト上昇の価格転嫁が不十分である飲用向原料価格を中心に、期中での再値上を求め、交渉されております。

全道の六月末総支払乳価(補給金込み)は七六・八六円となっており、前年度と比較すると六・五八円の上昇となっておりますが、生産コスト上昇分をカバー出来ていない状況となっております。

④ 生乳共販経費控除について

本年度の共販経費控除については、道内の送乳や転

送経費の合理化など、北海道酪農基盤維持対策(八十銭事業)の実態に見合った整理により、合計で四十四銭削減されております。

⑤ 生乳の需給見通しについて

生乳等向けについて前年を下回っているものの、都府県の生産状況によつては需要期における飲用需給の逼迫も予想され、道外移出量が前年度より増すことが見込まれます。

乳製品向けはチーズ・液状乳製品の拡大が見込まれているものの、バター不足の対応のため、加工向けへの振り替えが発生する見込みです。

⑥ 飲用向け原料乳価格の交渉について

平成二十年度期中での再値上げを求め、乳業者との交渉を取り進めることとなりました。

新規事業

①北海道酪農緊急経営強化対策事業

当事業については、配合飼料価格安定基金制度四％追加補填の発動が停止されることを踏まえ、自給飼料の生産拡大等による生産性の向上や消費者の理解醸成に取組む北海道の酪農経営を支援し、生乳需給の安定と酪農経営の健全な発展を図る目的としている。また、生産コストの上昇分を補うとともに、バターの不足などに伴う生乳需給の安定確保にも緊急に対処する必要から北海道に限定した対策である。

事業期間

二十年度限り(取組開始は二十一年七月一日以降からの取組)

事業主体

中央酪農会議

交付金

経産牛一頭当り五十七百円/年(二十一年七月一日時点の牛個体識別台帳に記録されている二十七年カ月齢以上の雌牛の頭数に対して)

参加要件

計画生産に参画し、配合飼料価格安定制度に加入していること
・ 1a/頭以上の飼料作付実面積を有すること

取組要件・自給飼料生産基

盤の拡大(自作地の五％以上の草地等購入、または借地の新規拡大)
・ 借地を活用した飼料作物の作付(借地割合が自作地の一〇％以上)
・ エコフィードの給与(当農協内は対象外)
・ 牛群検定への参加(体細胞数八月、十一月、二月、のうち二回以上が三十万以下)

・ 牛群検定の新規加入(三年以上の継続加入)
・ 経産牛の増頭(年度内に飼養頭数の三％以上増頭)
・ 肉用繁殖雌牛の導入(年度内に経産牛(乳牛)飼養頭数の三％以上導入)
上記七つの取組要件のいずれか一つをみたすこと
なお、北海道知事特認による取組もある。

知事特認による取組項目については案段階の提示であり、確定したものはない。

交付金の受給

・ 第2四半期から第4四半期まで四半期毎に交付(千九百円/四半期)
※ 飲用乳価が三円/kg以上、または推定プール乳価〇・七五円/kg(三円×飲用割

合二五％)以上値上げされるまでの期間交付

②パイプラインミルクカー

点検整備、バルククーラーの点検整備に係る助成事業

(目的)

消費者の高品質化指向と管内の広域流通が拡大し、また、食品衛生法の改正を踏まえ、乳質を巡る情勢も新たな段階を向え、良質乳生産強化を図ることを目的とし、以下の事業を実施する。(事業内容)

パイプラインミルクカー点検
バルククーラー点検について隔年(交互)で実施し、点検金の五〇％助成する。
*パイプラインミルクカー点検 二十年度実施
*バルククーラー点検 二十一年度実施

ミルクカー点検料
インミルクカー 一万五千円
ミルクキングパーラー 二万円
*パーラーの点検料金は、六頭ダブルルを基準とし、一台増えるごとに五百円の追加料金となる。

点検内容
○パルセーター性能検査
○システム真空度測定

○調圧器能力計測
○システム空気流量測定
○外観チェック

*真空ポンプのオイルの状態、ベルトの状態
*調圧器の汚れ、作動状態
*真空パイプの設置状態、トレンバルブの状態
*ミルクパイプと受送乳系統の汚れ、設置状態
*ユニット関係(ライナー、ミルククロー、チューブの汚れなど)

バルク点検料
密閉式 一万五千円
開放型 二万円
*複数バルク所有で実施する場合は、二基 五千円

点検内容
○タンク内外の衛生関係
*マンホールパッキン、排水口、洗浄状態、アジテーターなど
○湿度関係
*湿度センサーの状態
○操作盤関係
*各種ランプなどの切れ。
電気配線の状態
○冷凍機関係
*電磁弁の作動状態、圧力ゲージの作動状態、ファンモーターなど

○攪拌機関係

*攪拌シャフト、ベアリング異常音、オイルシールの汚れなど
○洗浄関係
*ストレーナーの確認、洗浄液漏れの確認、アジテーターモーター、洗浄ポンプなど

③畜産経営生産性向上支援リース事業(一/三補助付リース)

一、事業内容について
事業実施主体が畜産農家に対し、畜産経営の生産性向上に資するものとして、あらかじめ定められた対象機械等を取得価格二/三でリースする事業

二、事業年度
平成二十一年度
平成二十二年
の三カ年
三、平成二十年度農協割当額について
二万三千五百八十八千円(消費税込の事業ベース)
※北海道今年度貸付枠十五億四千万円。

四、北海道における取進めの考え方について(七月十一日付け北海道農政部より通知)
(1)導入する機械などの種類・規模について、極力最小限かつ効率的な機

械を導入すること。導入機械、施設を有していないことが最優先され会計検査の対象事業として機械・施設導入の必要性、妥当性が厳しく検証されることが予想され導入にあたっては会計検査の受検も念頭におくこと。

(2) 事前着工の機械、施設は対象とならない。

五、導入に関する優先度の考え方

(1) 種類別貸付対象機械、施設及び貸付期間について

※平成二十年度は乗用作業機械(トラクター、シヨベルローダー)、複数種類機械の貸付は対象とならなかった。

(2) 導入に関する優先度の考え方について

(リース事業に係る北海道の取進めの考え方一部抜粋)

本事業は個人向け補助付きリースとして特例的に措置された事業であり、基本的に個人に対する貸付を優先すること。さらに、導入しようとする機械・施設を有していない者を優先

することとされている。従って、優先度は以下の順で検討する。

① 個人経営であり、導入予定の機械・施設を有しておらず、導入により生産性向上効果が十分に見込まれる者。

② 個人経営であり、導入予定の機械・施設を有しているが著しく不足しているなどの理由があり、導入により生産性向上効果が十分に見込まれる者。

③ 個人経営であり、上記(1)、(2)以外の理由があり、導入により生産性向上効果が十分に見込まれる者。

※対象者の選定に当たっては上記要項を勘案します。

六、翌年以降の取り進めについて

本事業を希望する場合、営農計画時に地区担当と協議願います。

購買部関連情勢報告

肥料情勢と価格対策について

【肥料情勢】

平成二十肥料年度ホクレ



策を実施。

① ホクレン肥料に係る今期の追肥に対し値上価格の五〇%を価格折込

② 農協取扱複合銘柄に対し二%を価格折込これらの値上がりにより来年度肥料については、ここ数年の減肥と天候不順による一番草収穫量の減収を踏まえ、糞尿の有効利用と草地の利用状況に応じた適正な施肥に心がけ、良質な粗飼料を十分確保していただきながら、購入飼料費の抑制に取り組んでいただきたいと思います。

また、本年の肥料推進については、十分時間を掛けた推進に当たりますので、価格が一番安い年内引取の協力と併せよろしくお願ひします。

飼料情勢について

引続きトウモロコシを中心とする穀物相場が高騰を続け、七月〜九月期における乳牛用配合飼料価格はトウ当たり千四百五十円から二千五百の値上がりとなり、メーカー毎の値上がり幅千

五十円の格差が生じてきました。

今後は自分の購入価格と奨励金額、差引金額を確認しながら、購入飼料費の抑制に努めていただきたいと思います。

この度の価格改定により安定基金を差引いた金額は、前年同期より実質生産者負担が一万円増加したことになります。

今後の見通は現在の価格で推移したと仮定すると、来年の第1四半期で安定基金の発動が停止し、第2四半期七月以降、現在より一万四千円程度実質生産者負担が増すこととなります。

配合飼料価格が高止まりする中でコスト削減に取り組み経営改善を図るには、質量とも高品質な自給飼料の確保と適期放牧の励行、また、配合飼料の適正給与による個体乳量の増と繁殖改善が重要であり、厳しい情勢に変わりはありませんが、是非取り組んでいただきたいと思います。

以上の内容報告でありませんが、この他にも各部署より様々な説明が行われました。



第24回中春別農協年金友の会
通常総会、スポーツ交流会

健康に気をつけ楽しい毎日

去る、6月13日、中春別農協年金友の会（会長・渡邊栄顕）では、団地センター二階トレーニング室において、第24回通常総会が84人の会員出席のもと行われました。



開会にあたり渡邊会長より挨拶があり来賓より竹田組合長より祝辞を頂きました。美原地区の山崎誠二さんが議長に指名され議事へと入りました。前年度役員改選を行っており今年度は、大きな議案も無く第一号議案から第三議案まで可決されました。

議事終了後は、別海町保健センターより小松ゆり子氏を講師に迎え近年、話題

となつている生活習慣病に関する講演会を行いました。日頃より関心を持つている方もそうでない方も、皆さん真剣に公演を聞き入っていました。

質疑応答では、「何が原因で生活習慣病になるのか」「どのようしたら改善できるのか」など、疑問に思っていることを率直に講師の



方に質問されていました。

総会終了後は、昼食時間をはさみ毎年恒例となつております春季スポーツ大会を行いました。天候は良かったものも風が冷たく肌寒い中、寒さを吹き飛ばす勢いで、ハツツとプレーされており、日頃の練習の成果を十分に発揮されていました。パークゴルフでは、ホールインワンも出て大いに盛り上がりました。ゲートボールでは、チーム全員で協力し合い、高得点を狙う姿が目立ちました。

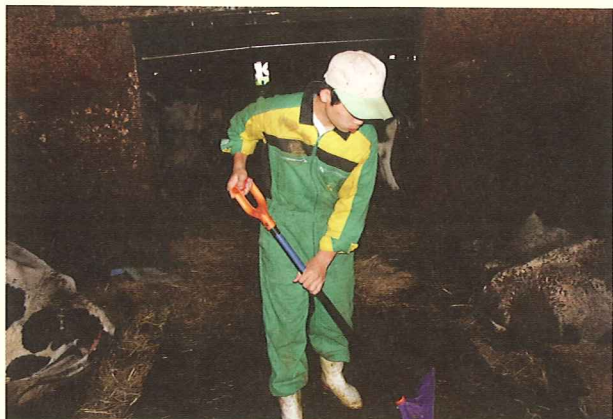
総会、スポーツ大会と多くの会員の方々に参加して頂き、大変嬉しく思っております。今後の活動もより多くの方々の参加をお待ちしております。



広大な牧場と、日常では得られない心の「ドキドキ」を体験。

兵庫県立 氷上高等学校

去る6月23日～7月2日の10日間の日程で、兵庫県立氷上高等学校の生徒五人が、当地区において酪農実習を行いました。



営農科 徳舛翔太君



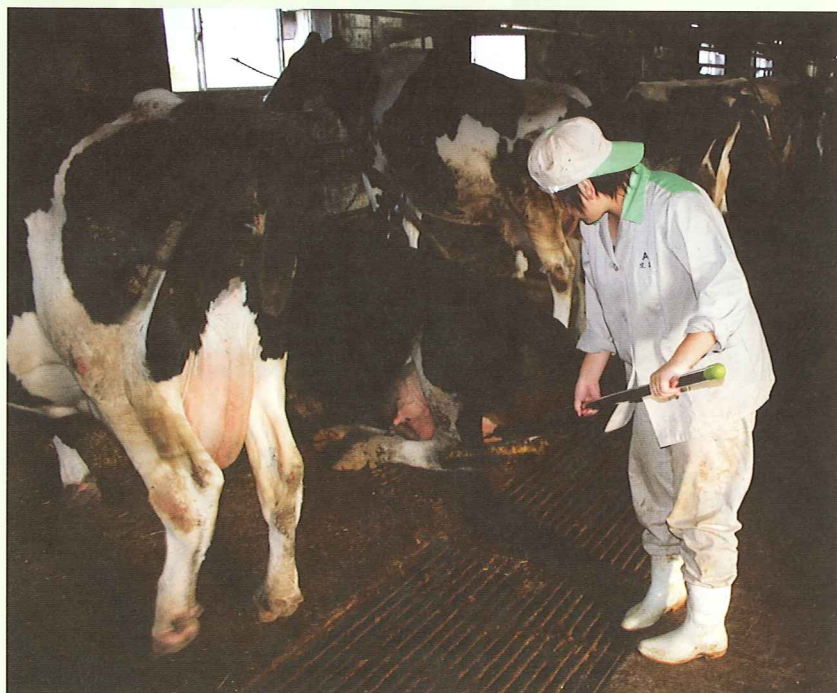
営農科 元田理奈さん



食品加工科 大垣裕也君



食品加工科 平井淳也君



営農科 足立美香さん

当農協では、初めての受入となりましたが、今年で三十年目になる取り組みとすることで、毎年多くの生徒が酪農実習に北海道を訪れており、今年も当農協の他、十勝管内、JA中標津、JAべつかが受入を行いました。親元を離れ慣れない環境

で、生徒達にとつて大きな不安と戸惑いを抱えた中での実習生活のスタートとなった事だと思えます。しかし、受入先のご家族との交流や実習を通じ、少しずつ当初抱えていた不安も消えていった事でしょう。過ぎてしまえば「あつという間の十日間」の酪農実習とな

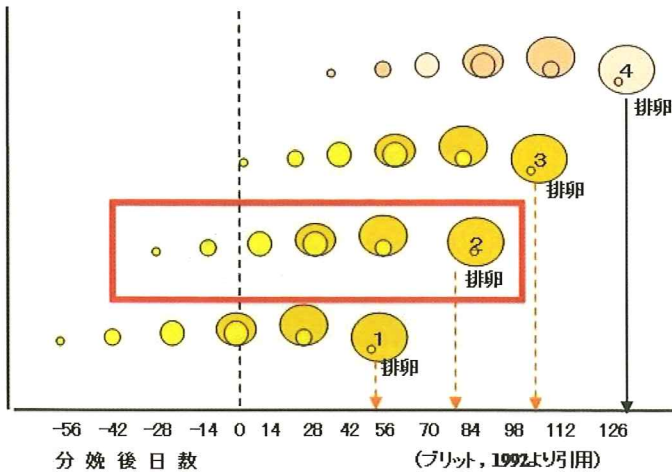
ったのではないかと思います。また、今回の酪農実習を通じ様々な事を学び感じた事が、今後の人生の糧となれば幸いです。最後にりましたが、ご多忙の中、ご協力いただいた組合員の皆様並びにご家族の皆様がこの場をかりてお礼申し上げます。

営農対策情報

根室農業改良普及センター

普及指導員 三宅 裕子

発情が飛んでいませんか？



1. 卵と受胎

コスト削減が叫ばれる中、空胎日数が1日延びると1頭当たり1、800円(2004年十勝農協連試算)の損失といわれています。一度発情を逃したと考えると、その損失額は約4万円にもなります。その様な中で「発情が飛んでくる」という話を良く聞きます。その原因は何で、どのような対策が必要なのでしょう？

分娩後排卵される卵の発育は分娩前から始まっています。図1より、分娩後2回目、3回目の発情の卵は、乾乳後期から分娩時に作ら

れるため、このころにエネルギー収支がマイナスになると良い卵が作られないこととなります。さらに分娩後に何らかのトラブルがあれば、図2のようにエネルギー

ギーは繁殖に使われず、発情が来ない、

栄養素配分の優先順位(受胎前)

- 1 生体維持
- 2 成長
- 3 泌乳
- 4 体脂肪蓄積
- 5 繁殖サイクル

繁殖は最後



(Dairy Science Update 1995/052)

受胎しない、という結果になります。

2. 原因と対策

発情が飛んでくる原因には発情時のエサの状態 ①と卵の成熟度合い ②、③が関係しています。

①エサ(蛋白過剰)：分娩後の牛のMUNが高ければ(個体で15以上)蛋白過剰の可能性がります。特に放牧、2番草または高水分サイレージ給与時はMUN

が高くなる事が多いので注意して下さい。②分娩前後のエネルギー不足：分娩前3週間配合4kgが目安です。分娩後、無脂固形分が低い場合(8.4以

下)にはエネルギー不足ですので、コーンやパルプなどエネルギー飼料の給与を検討下さい。③分娩後の疾病：特に胎盤停滞を患った牛は、乾乳期の栄養不足が疑われ、ケトシスを患った牛に関しては明らかなエネルギー不足ですので、BCSの回復が必要です。

高乳量の牛に対して「受胎しにくい」といった声が聞かれます。乳量が出る分、エネルギーを必要としているので、受胎しにくい状況にあります。そのような牛はBCSが回復するまでは受胎しないので、いかに早く栄養水準を回復させるかが勝負です。受胎するまでは乳量が落ちてても栄養水準を落とす(乳配を減らす)ことのないよう注意して、空胎日数の短縮に努めましょう。

知識、技術の向上を図り将来に備えたい



酪農^{あす}未来を^す若者達 ひらく

中春別地区 平井 優一さん (23歳)

先月ご紹介しました美原地区の長沼 徹さんのご紹介で、今月中春別地区の平井優一さんをご紹介します。

優一さんは、昭和六十年十二月六日、父・房夫さん、母・忍さんの長男として生まれ、中春別小学校、中春別中学校卒業後、別海高等学校酪農科に進学されました。高校卒業後は、同校の専攻科へと進学され卒業後、本格的に家業に就かれました。

幼いころより家業を手伝い牛舎で過ごす時間が多かったそうです。牛舎が遊び場だったという事もあり、家業の手伝いも「遊びの延長といった感じだった」と優一さんは振り返っていました。

本格的に家業に就こうと考え始めたのは、高校へ進学された頃だそうです。手

伝いをしていなかで、ご両親の働く姿を見ているうちに酪農により一層興味がわき、ゆくゆくは自分が家業を継ぎたいと思うようになったそうです。また、専攻科への入学したことで、より専門的な授業を通じて、家業を継ぎたいという思いが一段と強くなったそうです。

家業に就く際には、父・房夫さんより「基本を怠らないように」から教えられ、本格的に酪農に取り組まれたそうです。

現在、家業に就かれ四年目を迎えた優一さんは、各種勉強会などにも積極的に参加されており更なる知識、技術の向上を図り将来に備えたいと話してくれました。

優一さんの趣味は車という事で、「愛車を手入れしながらドライブなどを楽しんでいられる」と話してくれました。

今回は、優一さんのご紹介で豊原地区の伊藤 孝彦さんをご紹介します。

平成 20 年度

中春別農協・各組織役員名簿

組織名	役職	氏名	組織名	役職	氏名
理事會	代表理事組合長	竹田國男		理事	兼松真武
	副組合長理事	小湊保孝		松井和孝	
	専務理事	丹羽善實		千葉葉悟	
	常務理事	佐藤藤猛		紫藤有策	
	理	兼松幸裕		高片野孝太	
	理	藤倉紀夫		理	片野大介
	理	望月英彦	中春別農協女性部	部長	青山美幸
	理	奥山秀幸	副部長	理	山田ひろみ
	理	中西貴司		理	遠藤美奈子
監事會	代表監事	南澤三郎		理	西原珠美
	監	平井真寛		理	斎藤道子
	理	西川稔		理	金子美佐緒
総務經濟委員會	委員長	兼松幸裕		監	望月千恵
	委	小湊保司		理	永野真佐子
	理	中西貴司	中春別農協 年金友の會	会長	渡邊栄
営農生産委員會	委員長	藤倉紀夫	副会長	會	浮川侃代
	委	望月英彦		理	佐々木和子
	理	奥山秀幸		理	金子郁夫
労務委員會	委員長	竹田國男		會監	鈴木口總
	委	小湊保實		理	関木茂成
	理	丹羽藤猛		理	佐々木
	理	兼松幸裕	中春別乳牛 改良同志會	会長	山田博和
	理	望月英彦	副会長	會	竹田中克好
中春別酪農 対策協議會	副会長	齋藤浩二	理事	理	田中山吉男
	理	小原義男		理	島川和修
	常任委員	藤倉賀均		理	妻沼野修
	理	竹田潤		代表監事	高橋学
	理	久野美鶴		理	平林銳治
	理	猿谷忠義	農事組合長會	北	酒井孝樹
	理	石森裕治		中	池野政浩
	理	金子琢哉		東	佐藤孝德
	理	青山美幸		西	中山靖
	理	山田ひろみ		南	北田充
	理	遠藤美奈子		南	菅野茂(会長)
	監事	伊藤一吉		よ	川畑秀晃
	理	川畑秀晃		ま	内山琢夫(副会長)
	理	永野孝浩		き	竹田潤造
	理	望月英彦		ば	鬼澤玄一
	理	齋藤義男		の	太田建一
	理	小原義男		ど	相澤敬治
中春別農協青年部	部長	猿谷忠義		り	金子敏雄(副会長)
	副部長	石森裕治		の	平井一也
	理	金子琢哉		丘	上田勝洋
	理	杉谷康人		ま	永野正孝
	理	門間賢真		き	永野正孝
	理	久慈人咲	中春別乳検組合	組合長	竹田國男
	理		副組合長	理	小湊保

組織名	役職	氏名	組織名	役職	氏名
	理事	藤倉紀夫		拡大委員会	永野孝浩
	"	望月英彦		"	佐々木靖
	"	奥山秀幸		"	相澤敬
	代表監事	平井真一		"	相島崎忠
	監事	西川寛稔		"	猿谷秀彰
	オブザーバー	丹羽善實		"	渡辺直人
良質生乳生産 推進委員会	委員長	奥山秀幸		"	小幡春男
	副委員長	望月英彦		"	根本広美
	"	藤倉紀夫		"	村井林鋭
	"	竹田國善		"	平安達辰
	"	丹羽國善		"	飯山昭二
	"	齋藤均二	豊原連合会	会長	牧野信敏
	"	芳山浩一		副会長	広沼邊一
	"	山田建義		会長	渡片岡利
	"	小原昌美	美原連合会	副会長	賣場神口
	"	大谷忠哉		会長	上山房
	"	金子琢子	中春別 町内連合会	副会長	平島久慈
	"	西原朋珠		会長	井崎房
	"	齋藤洋均		副会長	島久慈
豊原酪農振興会	会長	藤賀均吉	離農跡地活用検討 委員会	代表理事	竹田國男
	副会長	伊藤一義		副組合長	小湊幸裕
	書記	久保藤均		総務委員	小兼松倉善
	会計	遠藤孝樹		専務理事	藤丹佐藤
	幹事	酒池浩治		専務理事	竹田國男
	"	村本靖	(有)中春別 マシンセンター	取締役	小湊英彦
	"	中村太郎		"	小望西司
	"	天井孝樹		"	中丹善實
	"	松野哲生		"	西川寛稔
	監事	青岡貞志		監査役	竹田國男
	"	中村貞志	(有)ジェイエー ・ワンプ	取締役	小湊秀幸
	"	山崎浩二		"	小奥西司
	"	内山琢夫		"	中丹善三
	"	竹田潤晃		"	南澤保裕
	"	川畑秀晃	農事組合法人 中春ミルクファーム	代表理事	小兼松倉真
	"	鬼澤建一		"	藤平井
	"	太田秀晃		監事	兼松幸裕
	"	太川秀晃		"	藤倉紀夫
中春別 酪農振興会	会長	小原義男	別海町農業委員	会長(理事会)	兼松幸裕
	副会長	大内昌美	中春別農協農業 後継者対策協議会	副会長(理事会)	藤倉幸裕
	計事	高野真悟		豊原地区	兼野矢勝
	代表監事	永野孝浩		豊原地区	久保朋子
	監事	佐々木靖		美原地区	久未敏
	拡大委員会	小原義男		美原地区	西原珠美
	"	大内昌美		中春別地区	佐々木靖
	"	久野美鶴		中春別地区	池田登美
	"	高橋真悟			



去る、7月16日、当JA地区内の中春別小学校、豊原小学校、美原小学校、野付小学校へ補助教材を進呈いたしました。

食・環境と農業のつながり「理解を深めて」

● JAバンクの新たな取組み

JAバンクでは、全国の子どもたちに向けて、食糧を生産する「農」の役割及び重要性、自然、社会環境と「農」のつながりなどについて学ぶとともに農業に対する理解を深めてもらうよう、食農教育を中心とする教育活動を実践する事を目的とし「JAバンク食農教育事業」を創設いたしました。

JAバンクでは、全国の子どもたちに向けて、食糧を生産する「農」の役割及び重要性、自然、社会環境と「農」のつながりなどについて学ぶとともに農業に対する理解を深めてもらうよう、食農教育を中心とする教育活動を実践する事を目的とし「JAバンク食農教育事業」を創設いたしました。

進呈に当たり、丹羽専務より「子どもたちが、食、環境などと農業のつながりを意識し、農業への理解を深めていただきたい」と挨拶があり、各学校長へと手渡されました。

北海道を代表する食の発信地域として、地元の子どもたちに、農業の素晴らしさ、農業の大切さについて学んでもらい地域に根ざした教育の一助になればと思います。

交通事故多発時期に向け安全運転を呼びかけ

七月二十二日、中春別駐在所前で、地域住民による交通安全街頭啓発の呼びかけが行われました。



「夏の交通安全運動」の一環として、毎年行われているもので、これから交通

事故が多発する時期を迎えることから事故の防止、安全運転お呼びかけをし、一人ひとりの交通安全にたいする意識の向上を目的として行われています。

当日は、地元町内会、連合会、農協職員など、約三十人の方々の協力で、道行

● 交通安全街頭啓発

く車一台いち台にべつかい牛乳を配布しながら交通安全、交通事故の防止を呼びかけました。

一人ひとりの交通安全に対する意識の向上が、交通事故の防止につながると思います。これからもシートベルトの着用、スピードダウンはもちろんのこと事故のないよう安全運転をお願いします。



©(財)東京川崎子美術館

全国約12,000台のATMで無料化。
いろんな街で使えるね!



日本全国をネットワークでつなぎ
どこよりも地域に密着して暮らしのお役に立ちたいと願う
JAバンクの新しい取組みです。これからも、いいことどんどん。
日本中で、あなたの街で、JAバンクの挑戦にご期待ください。

7月22日から ATM入出金手数料、全国一斉「無料」。

JAバンクのキャッシュカードをお使いの方は

どこでも 全国津々浦々約12,000台のJAバンクATMで一斉に。

毎日 平日はもちろん、土日・祝日でもATMでの入出金手数料が無料をご利用いただけます。

ATM入出金手数料		
全国約12,000台のJAバンクATMから	平日・土日・祝日ATM稼働時間内	無料
セブン銀行ATMから	平日 8:45~18:00 土曜日 9:00~14:00	無料



※稼働時間はATMにより異なります。
※一部無料化の対象とならないATMがあります。
左のステッカーが掲示してあるATMで終日無料にてご利用いただけます。

詳しくはお近くのJAバンクへ。ボーナスの運用や住宅ローン等、お気軽にご相談ください。

新職員の紹介

三カ月間の試用期間を終え七月付けで新採用となった職員をご紹介します。
また、試用期間中に行われた農家実習についてご紹介します。

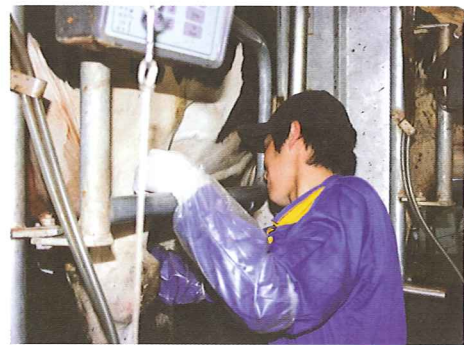


宮農生産部畜産販売課畜産指導係
工藤 智紀

今回、六月九日から六月十三日までの五日間の日程で、農家実習に行ってきました。

僕は、藤倉さんのお宅でお世話になりました。最初の仕事は、自宅の前の芝刈でした。芝刈は意外と楽しく楽しみながら芝刈を行いました。家族全員が、それぞれの仕事を任せていました。夕方の方の牛舎仕事は、三時からでしたが、少し早めに牛舎に行き牛舎などを見ていました。僕が作業して思ったことは、とても仕事がいやしい牛舎だと感じました。効率が良い作業が行えるから搾乳頭数が多くてもそれほど時間も掛からないんだ

と感じました。その一番の設備がロータリーパーラーだと思えます。牛が回転しているの、仕事が出来て他の仕事にも手が行き届き良い経営に繋がるのだと思いました。初めてロータリーパーラーで、搾乳を行いました。慣れるまで感覚がおかしく、最初は、こういう風に皆なると藤倉さんに教えられました。牛舎仕事も終わり家族全員で、ご飯を食べました。大勢の家族の方々に囲まれ楽しい時間を過ごす事ができました。また、家族の皆さんと様々な事を話し交流を深める事もできました。朝は、五時半に牛舎へ行き育成の給仕、搾乳を行いました。ロータリーパーラーでの搾乳が、楽しくとても良い経験させていただきました。今回の酪農実習を通して学んだ事を忘れず今後の仕事に活かして行きたいと思えます。藤倉さん本当にお世話になりました。



宮農生産部宮農振興課宮農振興係
鈴木 郁美

私は、六月三日から六月十三日までの五日間、南澤さんのお宅で農家実習を行いました。

一日目は、九時に南澤さんのお宅に着き、三時から牛舎に行きました。小さい

牛達がいる牛舎へ行き牛の下に敷いてある草をとりかえ、糞を掃除、ロールになった草を敷き、牛を移動させおがくずを敷きました。子牛に発酵乳、粉ミルクを水で混ぜ一頭ずつミルクを与えました。子牛達は、初めて見る自分を見て、手を伸ばしても逃げて行くばかりで、触れる事が出来ませんでした。ミルクは普通に飲んでくれました。その後は、大きい牛の牛舎で、糞をとし、通路をきれいに掃除しました。牛の下におがくずを敷きました。牛の後ろで作業している時は、牛が足を上げるのがとても怖かったです。

二日目からは、朝は五時半から夕方四時から牛舎へ行き一日目と同様に作業を行いました。五日間の農家実習を通じ、牛達は、最後まで私に慣れてくれませんでした。充実した時間を過ごすが、充実した時間を過ごす事が出来ませんでした。朝、目覚めてからすぐに体を動かすのは、大変でしたが、なん



とか頑張る事ができました。今回、実習を通じ酪農は、天候に関係なく多くの仕事があるのだと感じました。実習を通じ学んだ事を今後の仕事に活かしていければとおもいます。五日間ありがとうございました。



総務部管理課管理係
櫻井 香

私は、五日間の酪農実習で色々なことを学びました。農家の仕事を体験したことが無く最初は不安でした。仕事では、子牛の部屋を掃



除したりミルクをあげたり、搾乳、牛のベットを綺麗にしました。牛舎以外の仕事では、庭を掃いたり、薪を積んだりしました。想像していた以上に牛舎は広く、牛は大きく驚くことばかりでしたが、一番印象に残っているのが、牛の分娩に立ち会ったことです。命の大切さを考えさせられました。牛がいて農家の方々がいて、私たちが生活できると感じました。人が生きていくことの大変さを感じ貴重な体験ができました。嬉しかったです。農家の仕事は、朝が早かったり休みが無かったりと本当に大変で、実習を通じ毎日続けている農家の方々の苦労、大変さを感じました。しかし、楽しいことも沢山ありました。今回、お世話になった奥山さんとご家族の方々には、本当に感謝しています。いつも皆、明るく笑顔の絶えないご家族でした。奥山さんの

お宅で、酪農実習ができたの底から思います。農家実習での貴重な体験を活かし経験したこと、学んだことを忘れず今後の仕事に努めていきたいと思えます。組合員との繋がりを大事にし、信頼される職員になれるよう一生懸命頑張りたいと思えます。このような体験をさせていただきありがとうございます。



購買部購買課購買係
柿本 法子

私は、西川さんのお宅で、五日間の農家実習を行いました。私が行った仕事は、朝、五時半に牛舎へ行き、育成牛の餌押しをして配合をやりまします。その後、親牛の糞をおとします。西川さんの牛舎は対尻式なので、糞を落とすにも時間がかかり手伝いに来ているサポート協議会のお姉さんに手伝ってもら

らいながら行いました。その後は、搾乳をし、育成牛の糞落としを行い余った餌を一輪車に積んで、捨てに行く作業を行いました。最後は、子牛に餌と水をやって午前中の仕事が終わります。夕方は、三時半からで、朝と同じように仕事をしました。

学ばなければならぬと思えました。そう思うことができたのも西川さんの話を聞いた、仕事をしておおかげだと思えます。本当に良い勉強になりました。ありがとうございました。



総務部金融共済課共済係
荒 千尋

今回は、共進会に出す牛がいたので、搾乳までの休憩時間には、牛を歩かせたりしました。大きな回転する機械につなぎ、牛の顔を上に向かせながらあるかせました。最初は、牛が別な方向に歩き出したり、何度も鳴いたり、立ち止まったりとうまくいきませんでした。他にも牛の毛を刈ったり、牛の体を洗ったりと共進会に牛を一頭出すにこれだけ大変な準備をしていることを知りました。朝、晩は、六月に入ってもまだまだ寒く、日中は、気温が上がって暑かったりと大変な仕事だと私は、この農家実習を通じ学びました。私自身、もっと酪農について

私は、兼松さんのお宅で、四泊五日の農家実習を通じて多くの事を学びました。

兼松さんのお宅に到着してすぐに、奥さんの畑の手伝いをしました。その後、兼松さんに牛舎の説明をしてもらい初日にも関わらず若牛の餌やりと子牛のミルクやりを任せて頂きました。そして、三日目に本格的に搾乳をさせて頂きました。搾乳のやり方は、私の家と全然違い、こんなにも大変な事だと思いませんでした。乳を拭く時に少しでも牛が暴れれば怪我へと繋がりが、

ミルクをかける時も、注意してかけなければゴミを吸い込み乳質が落ちてしまふなど、とても大変なことだと実感しました。四日目のお昼に奥さんとアザミ取りに行きました。奥さんの話を聞いていると毎年、アザミを取る事で、年々アザミが減っている事また、牛の乳房を傷つけないためにもアザミを取るといふ事が分かりました。酪農を営んでる方々は、ちょっとした事にも気を配りしっかりと考えていおり凄々とおもいました。そして、兼松さんのお宅で、自分の家とは違う貴重な体験が沢山できました。農家さんごとで仕事内容、仕事の仕方が全然違うということが分かりました。この農家実習で学んだ事は、絶対に忘れず今後活かして行きたいと思えます。兼松さん本当にありがとうございました。





JA中春別女性部からの
今月のおすすめ!メニュー

簡単ヘルシーレシピ ~夏野菜を使って~



材 料<4人分>

トマト 300グラム (中2個)
(ミニトマトでも代用可能)

青じそ 4枚

すりごま 大さじ1と1/2

A さとう 大さじ1
しょうゆ 大さじ1

※写真はミニトマトを使用したものです。

調理方法

1. トマトは大きめ(2~3センチ)の角切り、青じそは細きりにする。
2. Aを混ぜ合わせる。
3. 器に1を盛り、食べる直前に2をかける。

* 1人分の栄養価 *

エネルギー 47 タンパク質 1.5g
脂質 1.9g 塩分 0.7g

資料提供：別海町食生活改善連絡協議会中春別グループ



第5回 理事会のうごき

平成二十年七月二十七日(水)

議案

- 一、組合員資格の変動並びに出資口数の減少について
- 二、平成十九年度分デイスクロージャー誌による開示について
- 三、諸規程の改正について
- 四、平成二十年度コンプライアンス・プログラム
- 五、第十一回「宵の市」の開催について

六、年間労働時間調整休日（六月十五日）の廃止と臨時休業（孟蘭盆）について

七、家畜環境整備資金貸出業務事務手続の変更について

八、平成二十年度農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について

九、平成二十年度大家畜特別支援資金への借換について

十、平成二十年度大家畜特別支援資金に係る条件緩和について

十一、平成二十年度酪農飼料基盤拡大推進事業に係る参加について

十二、中山間事業に係る別海町集落への資金貸付について

十三、パイプラインミルクの点検整備・バルククーラーの点検に係る助成事業について

以下、原案通り承認

協議事項

- 一、ホクレン別海中継クレーンステーション跡地取得の取り進めについて

七、平成二十年役員研修について

八、根室農業大賞について

報告事項

一、組合員の脱退予告について

二、人事の発令について

三、平成二十年六月末財務状況について

四、JAバンク基本方針に基づき平成十九年度「経営状況に関する事項の報告」について

五、農林公庫資金貸付事務手数料の廃止について

六、JAバンクサマーキャ

ンペーン2008の実績について

七、平成二十年六月末購買事業実績について

八、リース契約について

九、平成二十年六月末営農生産関連実績について

十、中春別農業後継者対策協議会によるJA独自対策について

十一、平成二十年別海町集落の役員構成並びに予算計画について

十二、平成二十年度生産調整の取り進め事項について

十三、平成二十年度畜産経

営生産性向上支援リース事業について

十四、北海道酪農緊急経営強化対策事業について



退職のご挨拶



藤原 博

定年退職にあたりまして、組合員、役職員、そして関係機関の皆様にご多大なご指導とご厚情をい

ただき六十歳の定年まで無事勤められました事、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

七月二十日の誕生日まで働くことができました事に感謝を申し上げ退職の言葉とさせていただきます。

最後に皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

約四十二年間、私なりに

キタゴヨウマツ(北五葉松)



身近な樹木に触れ、名前を知り
自然ともっと仲良くなろう

山地の斜面や山陵などに生えています。ゴヨウマツの北方変種です。常葉針葉樹で高さ20m~30mまで成長します。分布は北海道十勝西部以西、本州中部以北です。

ゴヨウマツの由来は葉が五個ずつ束生していることからです。キタゴヨウマツの由来はゴヨウマツの北方種ということからです。別名はヒダカゴヨウです。

材は均質で狂いが少なく、建具、欄間、仏壇の彫刻部分、木型などに利用されています。また、庭木、盆栽、公園樹としても人気が高く、見る楽しみをあたえる樹種の一つです。

ヒダカゴヨウはヒメコマツの北方種で、葉はやや曲がったやわらかい針状です。樹皮は幼いときは灰色でなめらかですが、のちに不規則に亀裂し、ウロコ状に剥げます。



ニューフロンティアファームの樹木図鑑より転載・抜粋

編集後記

▼七月に入り暑い日も増え、道東地方の夏が本格的に始まりました。さて、先月の末より始まりました一番草の収穫作業も、一段落された頃ではないでしょうか。昼夜を問わずの作業続きで、疲れが蓄積されてることと思いますので、二番草の収穫作業開始までの間にしっかりと疲れを癒していただきたいと思えます。

▼今月号では、兵庫県氷上高等学校の酪農実習を紹介いたしました。最初は慣れない環境、大きな牛達に戸惑いながらも一生懸命に実習を行っている姿が印象的でした。わずかな期間ではありますが、思い出深い実習となりましたが、思い出深い実習となりました。また、例年行われていた高年齢者スポーツ大会も行われ、当農協地区内からは二チームが参加しました。当日は、様々な趣向を凝らした競技が行われ会場は大いに盛り上がりつつありました。

▼さて、新職員も四月からの研修期間を終え採用され、各部署でがんばっております。事務所へおいでの際には気軽に声をかけていただければと思います。